

# U.S. Indicators

## 米国 強い景況感を維持(15年8月ISM非製造業・総合景気指数)

発表日：2015年9月4日(金)

～国内需要が牽引する形で景気拡大～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治

03-5221-5001

### ISM非製造業景気指数

	総合指数	活動指数	新規受注	雇用	入荷遅延	受注残高	仕入価格	新規輸出受注	輸入	在庫変動
14/12	56.5	58.6	59.2	55.7	52.5	49.5	49.8	53.5	50.0	50.0
15/01	56.7	61.5	59.5	51.6	54.0	49.0	45.5	52.5	46.5	52.5
15/02	56.9	59.4	56.7	56.4	55.0	53.0	49.7	53.0	51.0	54.5
15/03	56.5	57.5	57.8	56.6	54.0	53.5	52.4	59.0	55.5	49.5
15/04	57.8	61.6	59.2	56.7	53.5	54.5	50.1	48.5	51.5	51.0
15/05	55.7	59.5	57.9	55.3	50.0	48.5	55.9	55.0	53.5	51.0
15/06	56.0	61.5	58.3	52.7	51.5	50.5	53.0	52.0	48.0	55.0
15/07	60.3	64.9	63.8	59.6	53.0	54.0	53.7	56.5	50.5	57.0
15/08	59.0	63.9	63.4	56.0	52.5	56.5	50.8	52.0	51.5	54.5

(出所) ISM

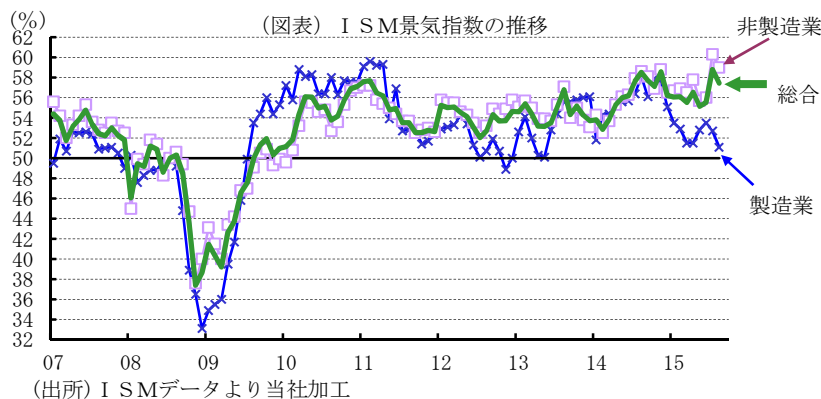
**非製造業景気指数は59.0と前月比1.3%ポイント低下も高い水準**

15年8月のISM非製造業景気指数(季節調整値)は、59.0と前月比▲1.3%ポイント低下したが、市場予想の58.2を上回り、高い水準を維持した。指数の算出に使われる項目(活動指数、新規受注、雇用、入荷遅延)の全てが前月の反動で低下し、総合指数への構成項目別の寄与度では、雇用(前月比▲0.90%ポイント)、活動指数(前月比▲0.25%ポイント)、入荷遅延(前月比▲0.13%ポイント)、新規受注(前月比▲0.10%ポイント)と雇用が最大の押し下げ要因となった。

8月のISM非製造業景気指数は、消費など国内需要の堅調さを背景に、非製造業門が好調を維持していることを示している。また、拡大した業種数は全18業種中15業種(7月15業種)と、引き続き広がりを持って改善した。金融・保険、小売業などの好調が持続している。一方、縮小した業種は、原油など資源価格の下落に苦しむ鉱業だけにとどまった。

### ISM総合景気指数は57.4と景気の堅調さを示す水準

非製造業景気指数と製造業景気指数を合成した「ISM総合景気指数」は、8月に57.4と7月の58.8から1.4%ポイント低下したが、04年12月以来の高水準圏を維持した。また、7、8月平均で58.1と、4-6月期の55.7を上回っており、7-9月期の経済成長が内需主導で加速していることを示している。今後、中国経済の減速が続いても、総合指数が内需に支えられ、現在の水準から小幅低下した程度で推移すれば、年後半の米国経済の成長率加速による労働需給の改善を背景に、12月利上げの環境が整う公算が大きい。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であると限りません。